



子育てしやすい大和市の実現に向けた

やまと市民討議会

開催結果概要

子育てしやすい大和市の実現に向けた「やまと市民討議会」を開催しました！

これから大和市をもっともっと「子育てしやすいまち」にしていくにはどうすればよいか、市民の方々からご意見をいただき、市の取り組みの参考とするため、平成26年11月29日（土）に「やまと市民討議会」を開催しました。

開催にあたっては、普段、市に意見を述べる機会の少ないいわゆる「サイレントマジョリティ」の方々に参加していただくため、無作為抽出した市民3,000名に案内を送付しました。

当日は、応募のあった29名の方と市内高等学校3校から生徒6名が参加しました。



市民討議会のようす

午前のグループワークのまとめ

大和市の子育て環境の 良いところ、自慢したいところ

- ・ファミリーサポートセンターをはじめ、子育て支援の制度が充実している。
- ・医療費が充実している。
- ・みどりが多く、自然あふれる大きな公園がある。
- ・交通の便が良い。コミュニティバスがあり、市内の移動がしやすい。
- ・スポーツができる施設がある。
- ・中学校まで給食がある。

大和市の子育て環境の 気になるところ、なおしたいところ

- ・子育てが終わった世代と子どもが交流する機会がない。
- ・子育てに関する情報をキャッチしづらい。
- ・気軽に遊べる広場がない。
- ・歩道に段差があるため、ベビーカーを押して歩きにくい。
- ・治安に不安があるため、子どもを一人で歩かせるのが心配。

将来、より子育てしやすく するためのアイデア

- ・子育て家庭とシルバー世代をつなぐ機会をつくろう。
- ・子育て情報の発信力を高めよう。
- ・公園で子どもがもっと自由に遊べるようにしよう。
- ・安心して子育てができるように、治安を向上させよう。
- ・託児施設のある職場がたくさんあるまちにしよう。
- ・コミュニティバスを子どもが一人でも利用しやすくしよう。
- ・子育ての相談をもっと身近にできるようにしよう。

午後のグループワークのまとめ

4つのテーマに分かれて、各グループで話し合っていました。その後、最も共感できるアイデアについて参加者全員で投票を行いました。

表の見方

グループ番号

課題

解決アイデア

※太枠はグループごとに最も投票数が多かったアイデアです。

テーマ① 子どもが生き生きと遊べるまち

1グループ	子どもたちが自由に遊べる場所が少なくなっている	公園で自己責任で危険なことも含めて自由に遊べるように、大人が遊ぶ子どもたちを見守る仕組みをつくろう	1グループ	共働きが増え、親と子どもと一緒に遊ぶ機会が減ってきている	親子で遊ぶ機会を増やすために「親」も熱中できる、まちでの遊びやイベントを開発しよう
	子どもが遊びながら運動できる施設や遊具がない	子どもたちの健康づくりのために、遊びながら運動できるような施設や遊具を増やそう		2グループ	多世代が出会う場所や機会がないために縦のつながりがない
	外での遊び方を知らない子どもが増えている	遊びを通じて子どもが「勝つことのうれしさ」「負けることのくやしさを学ぶことで、子どもの「思いやりのあるコミュニケーション能力」を育てよう	3グループ		大人目線の制約が子どもの自由をうばっている
	地域の人と子どもが交流する機会を持つのが難しくなっている	地域住民が「遊び方」「遊びの楽しさ」を知らない子どもたちに、学校の授業の一環で遊びを教える仕組みをつくろう		4グループ	まわりの大人の理解が足りない、あるいは異なる考え方向土の理解不足

テーマ② 親子で外出したくなるまち

3グループ	子どもが安心して遊べる公園づくりが必要	広い公園の見守りや清潔さの保持等、管理を向上させて、皆が安心して行きたくなくなるような公園を増やしていこう	1グループ	移動の手段としてのコミュニティバスを充実させる	コミュニティバスの活用目的を広げるために、見守りボランティア、イベントバスの運行など、使い方を市民が提案できる“場”をつくろう
	授乳施設等安心して外に出られる設備があるとよい			4グループ	親子で文化に親しめる環境をつくる必要がある
	移動手段が不足している	ベビーカーを気兼ねなく乗せられるようにコミュニティバスを充実させよう	3グループ		外出したいと思える場所やイベントの充実が必要
	遊びに行きたくなるイベントが少ない	一方的なイベントではなく「参加型」や「いろんな人に会う」ことがコンセプトのコミュニティづくりイベント「井戸端・大和」を各地で開催しよう		4グループ	情報の発信が少ない
大和市ブランドがない	「井戸端・大和」で読み聞かせや植木市等、老若男女が参加できる企画を開催し、大和ブランドに育て上げよう	外で楽しめる場所が少ない			

テーマ③ 仕事と子育ての両立

5 グループ	地域とのつながりをより深めることが大切	シルバー世代にできることから支援してもらう体制をつくろう
	ファミリーサポートセンターなど、市の取り組みの情報が届かない	ファミリーサポートセンターにシルバー世代が気軽に登録できるような仕組みをつくろう 必要な情報を届けるために SNS やメールマガジンで配信して携帯電話などで取得できるようにしよう
	放課後に障がい児を預ける場所や制度が足りない	民間の学童や保育施設で障がい児を受け入れられるような支援と仕組みづくりをしよう
	養護学校が大和市にないため、学校への通学が大変	学校の前に停留所を設置することや、コミュニティバスによる地域の見守りなどを進めよう
	治安が悪く子どもを残して働きに行くのが心配	
子どもを預けられる場所を増やし充実させることが大切	仕事中に子どもを預けられるように、「子どもの急病に備えて病院と企業が提携」「企業の空き部屋や会議室を子育てスペースとして開放」「緩く働ける企業を誘致」させよう	
子どもが病気の時に仕事を抜けられないことが心配		
子どもを預けられる場所を設置するなど企業の協力が必要		

6 グループ	身近な保育園の充実や働きやすい環境づくりが大切	会社の中に保育所ができるように行政も支援しよう
	男性の子育てへの参加が課題	地域で支える、支え合う関係を IT 技術も活用して実現しよう
	職場や地域の子育てへの参加が大切	
	子育ては一大事業、子どもの成長を見守る視点が大切	子育て家庭に専門家が向き相談できる仕組みや、保育の実習生が子育てをサポートしてくれる仕組みをつくろう 子どものために、保育園、幼稚園までは、同じ考え方で保育・教育をしよう
	経済的な保障がないと働く時間が長くなる	行政の子育てに関する経済的保障は、必要としている子育て家庭に行おう
シングル親への支援策が必要		
女性の就労復帰へ段階的な取り組みの検討が必要	成長に合わせて就労時間を徐々に増やしていくなど、子育て中の女性の段階的な就労復帰のための環境を整えよう	

テーマ④ 子育ての不安を解消するには

7 グループ	子育て支援センター（桜丘）のような仲間づくりや相談、交流できる場所が不足している	子育て特区として駅の近くに保育施設、子育て世帯用住宅、公園、病院施設等のあるまちをつくろう 既存施設や空きビルなどを活用して「こどもーる」をたくさんつくろう
	仕事を休みにくいため祖父母への負担が大きくなる	優良企業の表彰など、子育てに優しい企業を大和市が応援しよう
	子どもの学力が低下していることが教育面で不安を感じる	低価格で参加できて、子どもに学びのきっかけを与える文化プログラムやイベントを増やすため、民間組織の活動を市が支援しよう

8 グループ	親は周りに対する不安でいっぱい、常に周りを気にしてしまう	周りの人にニコリされるだけで子どもという親御さんは救われるので、みんなでニコリ運動を始めよう
	日頃赤ちゃんと接する機会がなく、はじめて接するのが自分の子で、子どもの面倒の見方が分からない人が多い	学習センターを多目的活用し、新聞を読む人、勉強する人、親子連れなど、世代を超えて出会う機会をつくろう
	通学路に不審者情報が多く、夜も道が暗いため毎日心配	不審者防止のために、街灯の増設等を高校生徒会から地域に掛け合うとともに、地域の男性を中心とした見守り隊の取り組みを始めよう 若い人の意見を聞く場を続けて、多様な世代の意見交換を大切にしよう
	子どもをつくりたくないと考えている人に出産・育児を考えてもらいたい	核家族では、家事や経済的負担が大きくなってしまったため、家族を拡大化し、子育てしやすい・出産しやすい環境をつくろう
	働こうと思っても、子どもの預け先がない	

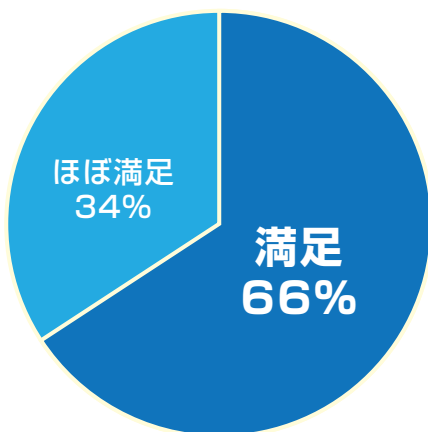


④ 当日のプログラム

時間	実施内容	時間	実施内容		
9:30	受付開始	12:20	昼食・休憩		
10:00	開会のあいさつ・市民討議会の目的について	13:20	市長あいさつ 午前中の成果の共有と後半グループワークの進め方・テーマの確認		
10:10	大和市の子育てに関する取組状況と課題				
10:30	本日の進め方の説明	13:30	8グループ(6～7人)に分かれて、各グループが1つのテーマについて、意見交換を行います。 テーマ①:「子どもが生き生きと遊べるまち」 テーマ②:「親子で外出したくなるまち」 テーマ③:「仕事と子育ての両立」 テーマ④:「子育ての不安を解消するには」		
10:50	10グループ(4～5人)に分かれて3つのテーマについて席替をしながら意見交換を行います。 テーマ①:大和市の子育て環境の良いところ、自慢できるところを出し合おう テーマ②:大和市の子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう テーマ③:将来、より子育てしやすくするにはどうすればよいかを出し合おう			15:30	グループ成果の発表
				15:55	各グループで良いと思った発表についてシール投票・まとめ
11:50	グループ成果の発表	16:15	閉会のあいさつ・アンケート記入		

④ 参加者の感想

<市民討議会への満足度>



<主な感想>

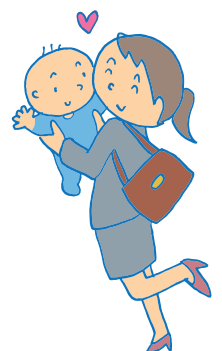
- ・大和市に引っ越して年数が浅く、よく地域のことを知りたかった。色々な方の意見を聞けたり、話し合えたりして楽しかったです。
- ・このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。充実した時間でした。また、機会があれば参加したいです。
- ・高校生の意見も取り入れてくれたのがよかったです。
- ・色々な意見を持つ一般の方が集まっていて良かったと思います。ぜひもっと開催してほしいと思いました。

④ 今後の取り組みに向けて

今回の市民討議会で頂いた内容は、市民参画で得た貴重な意見として取りまとめ、今後、市の子育て支援施策等を推進するための取り組みの参考としていきます。

また、報告書は平成27年2月頃に市ホームページに掲載予定です。

URL: <http://www.city.yamato.lg.jp/web/seisaku/seisaku01211798.html>



④ お問い合わせ

大和市 こども部 こども総務課 電話：046-260-5606